相手の名前を書く言葉などを書くらりをしょうかいる自分をしょうかいるおれの言葉をねが	ア とくに心にのこった ア とくに心にのこった	>	□からえらんでといいます。 お礼の手ます。 お礼の手ます。 お礼の手	学年 10 手紙文 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
			つら気②けえをお	名 前
•	し わし い	ン 〈達〉 る	る まらつ礼	
	一 るお 方	相と相	。手 しびけの	
らいち	度 よ礼 を す す の す	手 使手	紙といる手	
, ,,,		をっを	紙ょいる手のうへこ紙	
4-2	いに気る。	考 て考 こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	形とを	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	たり持	ス い ス		
- L		たるず	に の ` 〈	
电 十	事 "	言言ふ	気 中次と	
, , , , , ,	の す く 。	葉 葉 だ の で ん	を にのき つ 〇中に	

ı	I	1	1		し後[1]
				$\widehat{\mathcal{L}}$	ょづお
		後づ	(末文))	(本 文 文	うけ#
		(後づけ)			ょ う っ し 話 に
					のに
					V) に は た
					内は
					谷った
					にた
					の内容に気をつになった方にお
					と に
					つお
					け礼 、の
					()
					気 手
					持紙
					持紙をがが
					が「
					伝 前
					わ文
					る・
					よ本
					う文
					伝わるように書きま前文・本文・末文・
					書末
					き文
					ŧ.

学 年 10 手紙文② 組 名 前